

## 編 集 後 記

去る6月4日に行われた11巻第1, 2合併号の編集会議において、以前から懸案となっていた編集主任交代の件が再度枝前編集主任から提案され、不肖私が2代目の編集主任をお引き受けすることになりました。編集業務については全くの素人で会員および執筆者の方々にもいろいろご迷惑をおかけするかと存じますが、宜しくご支援ご協力下さいませようお願い致します。それにつけても、松本歯学を軌道に乗せ、十年間の長きに亘ってご苦労下さった前任の枝重夫教授には心より感謝の意を表する次第です。

本号の総説は本学口腔解剖学第1講座主任恩田千爾教授に執筆をお願いしました。日本解剖学会中部地方会を10月に主催され非常にお忙しいときの執筆依頼で甚だ恐縮しておりましたが、異常歯という臨床の先生方にも直接お役に立つ原稿を頂きました。このほか、原著7篇、臨床4篇の原稿を投稿して頂きましたので、本号はご覧のようになり厚いものとなりました。今後とも内容の充実した原稿を沢山ご投稿頂けますようご協力のほどお願い申し上げます。

皆様ご承知のごとく本誌の総説は本学の基礎系と臨床系の教授または助教授が交互に執筆してきましたが、今回の恩田教授で基礎系は一周しました。まだ臨床系の教授で執筆されていない方が数人居られますので、基礎系は2周目になりますが当分同じように交互に執筆して頂くことにしました。次号は臨床系で小児歯科学教室の今西孝博教授に、その次は口腔病理学教室の枝重夫教授に、さらにその次には歯科補綴学教室第2講座の甘利光治教授に執筆をお願いしてあります。皆様ご期待下さい。

次巻より松本歯学専用の原稿用紙を使って頂くべく計画しております。原稿の控えとしてコピーをとる方が多いと考え、また英文原稿と同じ大きさにすることも考えてA4版横書き原稿用紙としました。投稿規定もこれに合わせて改定しましたので、今後のご投稿はなるべくこの原稿用紙をご利用下さい。(野村浩道)

松 本 歯 学                      第11巻 第3号                      (非売品)

1985年12月25日 印刷                      1985年12月31日 発行

編集兼発行者                      加 藤 倉 三

発 行 所                      松本歯学大学学会

399-07 塩尻市広丘郷原1780                      電話 0263-52-3100

印 刷 所                      電算印刷株式会社

390 松本市筑摩3270                      電話 0263-25-4329